

認定介護福祉士養成研修 開催要綱

領域：心理・社会的支援の領域 科目：「心理的支援の知識・技術」

内容：援助対象者の心理を理解・支援するうえで必要な心理学に関する知識を習得し、心理的理解と支援の方法を習得させる。

1. 目的

利用者のニーズの多様化や高度化に対応する質の高い介護実践、介護職の指導・教育、医療職等との連携強化など、幅広い役割を担う介護福祉士が求められてきています。これからは、介護サービス利用者の増加に伴い、介護職としての能力や知識に幅のあるメンバーをチームリーダーとしてとりまとめ、サービスの質の改善のために教育・指導等の育成に取り組むことも重要になってきます。さらに、これからの地域包括ケアシステムの推進には、利用者に寄り添う生活支援の専門職として、より広い視野をもった介護福祉士が必要になってきます。介護福祉士には資質向上の責務が課せられていることから、今後はさらに介護福祉士のキャリアパス実現に向けた取り組みが重要になってきます。そこで継続的な教育機会を提供し、介護福祉士の資質を高め、社会的な要請にこたえるために「認定介護福祉士養成研修」を実施します。

【認定介護福祉士のねらい】

1) 生活を支える専門職としての介護福祉士の資質を高める。

①利用者のQOLの向上

②介護と医療の連携強化と適切な役割分担の促進

③地域包括ケアの推進 など

2) 介護の根拠を言語化して他職種に説明し共有したり、他職種からの情報や助言の内容を適切に介護職チーム内で共有することで、他職種との連携内容をより適切に介護サービスに反映することに寄与する。

3) 介護福祉士の資格取得後の継続的かつ広がりをもった現任研修の受講の促進と資質の向上を図る。つまり、介護福祉士の資格取得後も介護業界で努力し続け、継続的に自己研鑽する拠り所となる。

4) 介護福祉士の資格取得後のキャリアパスの形成

2. 主催 一般社団法人沖縄県介護福祉士会

3. 日時

①令和4年7月30日(土) 受付9:00～ 講義9:30～16:30 (ZOOM オンライン)

②令和4年8月27日(土) 受付9:00～ 講義9:30～16:30 (ZOOM オンライン)

③令和4年9月17日(土) 受付9:00～ 講義9:30～16:30 (対面研修)

※3日間とも受講できることが必須要件となります。1日のみの受講は認められません。

*天候による諸事情(台風等)または新型コロナウイルス感染症等の影響により、上記日程の一部がZOOMオンラインに変更される可能性があります。

4. 会場 ※日にちにより会場が変わりますのでお気をつけて確認して下さい。

令和4年7月30日(土)・8月27日(土)

ZOOM オンラインで実施

令和4年9月17日(土)

沖縄県総合福祉センター東棟4階401研修室(研修会場は変更される可能性があります)
〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1

5. 受講対象者

介護福祉士資格を有するもので、以下(1)または(2)のいずれかを満たすもの

- (1) 介護福祉士基本研修を修了していること(介護福祉士初任者研修修了では認められません)。
- (2) 介護福祉士ファーストステップ研修を修了していること。

6. 研修内容 別紙1「研修概要」「事前課題について」参照

7. 講師 沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授 吉川 麻衣子(よしかわ まいこ)氏
臨床心理士・公認心理師

8. 受講定員 18人(受講申込みが定員に達し次第、受付を締め切りさせていただきます。)

9. 受講料 会員 15,000円 非会員 30,000円(認証審査に係る申請手数料等含む)

認証された科目については3年ごとに更新手数料(1科目約1,000円)を負担していただきます。

受講料については、受講予定日の1週間前までに下記の振込先口座にお振り込み下さい。

振込先 口座	(1) <u>振込先金融機関：沖縄銀行 石嶺支店</u> (口座名義) (社) 沖縄県介護福祉士会 会長 垣花 秀美 (口座番号) 1448894 (振込手数料は各自でご負担下さい)
	(2) <u>振込先金融機関：ゆうちょ銀行</u> (加入者名) (社) 沖縄県介護福祉士会 (口座記号) 17030 (口座番号) 11842931 (振込手数料は各自でご負担下さい) * 他の金融機関から振り込みされる場合は、(店名) 七〇八(読みナナゼロハチ)、(店番) 708、(口座番号) 1184293 となります。

振込み後の参加取り消しや欠席の場合、受講料の返金はできませんので予めご了承下さい。

10. 修了について 研修科目ごとに修了試験や課題レポートの提出等があります。

それぞれの研修科目において修了認定の評価に合格することが科目修了の要件となります。
(別紙3「認定介護福祉士養成研修の科目修了及び受講における留意事項について」参照)

11. 受講申し込み方法

別紙2「受講申込書」に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先へFAX又は郵送でお送り下さい。また、記入後の「受講申込書」をPDFデータに変換してメールにて申し込むことも可能です。

12. 問い合わせ先

〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1 沖縄県総合福祉センター内西棟 4階（事務局）

電話 098-887-3344（平日 13:00～17:00 まで受付）FAX 098-887-3391（24 時間受付）

一般社団法人沖縄県介護福祉士会 E-mail : okikaigo@gmail.com

13. その他

- * 事前課題の作成に当たり本会ホームページ内特設ページ「認定介護福祉士」を確認して下さい。
- * 担当講師より、研修 1 日目と 2 日目終了後にそれぞれ中間課題が出されます。
- * 受講にあたり指定のテキスト・新・社会福祉士養成講座「心理学理論と心理的支援・第 3 版」（税込 2,420 円）を購入してもらいます（中央法規出版）。受講生自身で直接中央法規出版に照会してテキストを購入してください。
[心理学理論と心理的支援 第3版 | 中央法規オンラインショップ e-books \(chuohoki.jp\)](http://www.chuohoki.jp/e-books)
- * 受講にあたり別紙 3「認定介護福祉士養成研修の科目修了及び受講における留意事項について」を確認して下さい。
- * 修了試験の詳細については研修 3 日目（令和 4 年 9 月 17 日（土））に担当講師より説明があります。
- * 当該研修の聴講を希望される正会員の方は事前に本会事務局までご連絡下さい（非会員の方の聴講はご遠慮願います）。
- * 事前に本会事務局より受講予定者の方へ受講対象者の要件について確認・照会する場合がありますので予めご了承下さい。
- * 会場駐車場は駐車台数が限られていますので、予め公共交通機関をご利用いただくか乗り合わせ等のご協力をお願い致します。
- * 研修会場は個人の希望による空調温度調節が難しいため必要な方は上着のご用意をお願い致します。
- * 天候による諸事情（台風等）または新型コロナウイルス等の影響により本研修が中止あるいは延期される場合があります（研修開催直前の中止あるいは延期の可能性も含む）。
当該研修が延期された場合は改めて受講生の方々へ事務局より新しい日程等をご連絡致します。



- * こちらの QR コードからでも確認できます。
- * QR コードは株式会社デンソーウェーブ様の登録商標です。

【 研修概要 】

援助対象者の心理を理解・支援するうえで必要な心理学に関する知識を習得し、心理的理解と支援の方法を習得させる。

【 事前課題について 】

事前課題 No. 1

・テキスト第3章「欲求と動機づけ」(P39～52)を読み、科目「生活支援のためのリハビリテーションの知識」事前課題2を振り返る。その後動機づけ(やる気・意欲)に関する書籍を1冊読み、その内容について研修初日に紹介する。必ずしも心理学に関する専門書である必要はない。

【科目「生活支援のためのリハビリテーションの知識」事前課題2の内容】

医学生・コメディカルのための手引書 「リハビリテーション概論改訂第3版」(永井書店)「第3章障害の心理的・社会的視点」を読み、障害の心理的・社会的視点(コミュニケーション技術等)を踏まえ自職場での利用者(患者)の意欲を引き出したと思われる介護実践について1000文字程度でまとめる。そのさい利用者(患者)に関するICF整理シートも合わせて作成する。

【課題のねらい】書籍を通して受講生自身の動機づけに対する興味・関心を高め自職場の「援助対象者に対する心理的理解」につなげる。

事前課題 No. 2

・受講生自身が自職場の援助対象者に対して無意識に行動している防衛機制(適応機制)について複数(4つ以内)まとめる。

【課題のねらい】自職場の援助対象者に対する動機づけを理解することの前提として、受講生自身が無意識に行動している防衛機制(適応機制)を意識的に自己覚知する。

※事前課題 No. 1 は Word 等を用いた任意の書式でよい(A4 サイズ、末尾に字数を記す)。

事前課題 No. 2 は指定の様式(シート)にまとめる。研修当日事前課題 No. 1～2 を1部(コピー)ずつ持参する。

※個人情報に関する留意事項

- ・個人情報の取り扱いには十分留意し第三者に開示されても支障の無い内容としてください。
- ・事例は個人情報特定できないように修正加工してください。
- ・事例は研修の中で教材として使用し研修参加者等と共有されますので予めご了承ください。

※ 事前課題の提出締切日

- ・令和4年7月22日(金) * 事前課題の締切日を必ず厳守して下さい。

郵送の場合は締切日当日までの消印有効、Fax・メールの場合は締切日までの送信有効、

- * 締切日までに事前課題の提出がない場合は当該研修科目の受講はできません。
- * 締切日を超えて提出された事前課題は受け付けずそのまま受講生に返送します。
- * 課題作成にあたっては時間的な余裕をもって取り組んで下さい。
- * 事前課題を提出される際には、必ず本会指定様式の表紙をつけて下さい。

【 送信先 FAX 098-887-3391 】(送付状不要)

認定介護福祉士養成研修 受講申込書

領域：心理・社会的支援の領域 科目：「心理的支援の知識・技術」

内容：援助対象者の心理を理解・支援するうえで必要な心理学に関する知識を習得し、心理的理解と支援の方法を習得させる。

申込科目名	心理的支援の知識・技術		
ふりがな		男性・女性	【 昭和 ・ 平成 】 年 月 日生
氏名			
会員・非会員 ※いずれかに○をつけて下さい。	1. 会員 (4 7 0 0) ⇒ 会員番号をご記入ください。 2. 非会員		
自宅	住所	〒	
	電話番号		
	F A X 番号		
	携帯番号		
	パソコン メール アドレス		
勤務先	名称		職種
	住所	〒	
	電話番号		
介護福祉士 登録年月日	年 月 日	登録番号	第 ー
研修履歴 ※該当する箇所を ○で囲んで下さい。	介護福祉士基本研修 修了 ・ 未修了	介護福祉士ファーストステップ研修 修了 ・ 未修了	

※受講申込書に記載された個人情報は、本研修の運営管理の目的にのみ使用させていただきます。

【認定介護福祉士養成研修の科目修了及び受講における留意事項について】

[認定介護福祉士養成研修の修了要件]

○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退は認めない。遅刻、早退それぞれ30分を上限として認める（この場合は修了を認めない。A～Dの4段階評価とし、D評価の場合は1度のみ再提出を認める。再提出する場合でも修了試験を課す）。

○事前課題・中間課題は、A～Dの4段階評価とし、D評価の場合は1度のみ再提出を認める。再提出する場合でも修了試験を課す。D評価の場合は評価結果が示されてから一カ月以内に再提出する。そこで再度D評価となった場合は修了を認めない。なお修了試験は、研修当日に実施する。

○修了試験は、A～Dの4段階評価とし、D評価の場合は1度のみ再提出を認める。修了試験がD評価の場合は評価結果が示されてから一カ月以内に再提出する。そこで再度D評価となった場合は修了を認めない。なお修了試験は、研修当日に実施する。

[認定介護福祉士養成研修の修了評価（以下①～④の全てを満たすこと）]

- ①出席状況が修了要件を満たしていること。（全課程の出席。ただしやむを得ない事情による30分以内の遅刻、早退は認める。詳細は修了要件欄を参照。）
 - ②修了試験を受けていること
 - ③事前課題・中間課題をすべて提出していること。
 - ④事前課題・中間課題・修了試験の全ての評価においてA～Cであること。D評価の場合は1度のみ再提出を認め、C以上の評価を得なければならない。
- A：85-100 B：70-84 C：60-69 D：59以下（※D評価の場合未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。）

[事前課題・中間課題・修了試験・レポート試験における再提出の基準]

- ①文字数不足（1,000文字指定の場合おおむね800文字以上で提出すること）
- ②課題内容に沿っていない（単なる感想文であったり決意表明の文章ではないこと等）
- ③書かれている内容が著しく薄い（医療職等他職種の専門職が読んだときに書かれている内容が理解できない等）

[受講における留意事項]

受講生本人または受講料を負担している自職場からの希望・要請がない限り、原則本会より再提出に対する指導・助言は行いません。介護福祉士国家資格者プラス介護福祉士基本研修を修了していることを今回の認定介護福祉士養成研修の受講要件としています。そのため厚生労働省が示している「介護福祉士資格取得時の到達目標（別紙「養成の目標」参照）」及び「介護過程が展開できる」レベルに受講生が達していることを前提として講義・演習を進めていきます。受講にあたり、「介護福祉士資格取得時の到達目標（別紙「養成の目標」参照）」及び「介護過程が展開できる」レベルに達していることをご確認のうえお申し込み下さい。